

施策評価調書

施策名	5-2-2	学びの場の提供と担い手への側面的支援		施策を取り巻く環境変化
		地域経営計画(後期計画) 該当ページ	P. 68	
担当部課	教育部 生涯学習課	担当 リーダー	社会教育担当 山野井 紀泰	

1. 住民意識調査結果

21年度(10月実施)		25年度(※実施予定)		26年度(※実施予定)	
満足度	3.7% 第17位/全36項目 (社会教育・生涯学習環境の充実)	満足度	第 位/全 施策	満足度	第 位/全 施策
優先度	53.3% 第18位/全36項目 (社会教育・生涯学習環境の充実)	優先度	第 位/全 施策	優先度	第 位/全 施策

満足度:「満足である」、「どちらかと言えば満足である」を合計した割合から、「どちらかと言えば不満である」、「不満である」を合計した割合を差し引いたもの

優先度:「優先すべき」、「やや優先すべき」を合計した割合から、「あまり優先しなくてよい」、「優先しなくてよい」を合計した割合を差し引いたもの

2. 施策の目標

指標	基準値	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
(成人を対象とした学習機会の充実、家庭教育学習支援、読書活動推進、ボランティア活動推進)							
指標1:町主体で開催している教室・講座の数:(講座)	22年度実績 10講座	計 画	10講座	11講座	12講座	13講座	15講座
		実 績					
指標2:図書館の利用者数:(人)	100,183人	計 画	103,200人	104,700人	106,200人	107,800人	109,400人
		実 績					
指標3:図書館の年間貸出冊数:(冊)	409,579冊	計 画	434,400冊	447,400冊	460,800冊	474,600冊	488,800冊
		実 績					
指標4:		計 画					
		実 績					
指標5:		計 画					
		実 績					
指標に関する特記事項	○図書館の利用者数、年間貸出冊数は、過去の増加率の平均値をもとに目標を設定しました。						

進捗状況の区分 ↑:目標以上の成果があった →:目標どおりの成果があった ↓:目標に至らなかった △:遅延・未着手等 ×:見直し・廃止等

3. 施策に係る経費

事業費(傘下事務事業費計)の推移【単位:千円】 (※総事業費)	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
		当 初	117,123			
	決 算					

4. 施策傘下事務事業 ※別紙のとおり

5. 施策評価

後期計画における施策展開のビジョン		H24年度の狙い
自己評価(部)	H22 事後評価	<p>学びに関しては、様々な学習・体験機会の提供に努めました。図書館に指定管理者制度を導入しました(平成22~24年度)(指定管理者=㈱図書館流通センター(略称:TRC))。あわせて、TRCとは例月の打合せのほか、常に報告・連絡・相談を密にして、より一層のサービス向上に努めました。</p>
	H24 事前評価	<p>様々な学習機会を提供することは、行政の役割のひとつであり、これを継続していきます。 情報の宝庫であり最も学ぶ場としては相応しい図書館については、平成22年度から指定管理者制度を導入しましたので、町民のみなさんがより利用しやすい、利用したくなるような環境づくりを、委託先と連携を図りながら進めていきます。</p>
総合評価(町長)	総合評価	
	<p>継続的に、学びの場の提供が実施されていると評価する。図書館にあっては、今後も民の力を活用した独自の事業展開を期待するので、行政としても、指定管理者との連携を密に、必要な側面的支援を行っていくこと。また、東日本大震災復興旧事業に係る財源確保(事業費・人件費ともに)のため、今後の施策展開にあっては、所管部署としても、事業執行と財源確保のバランスを十分に検討されたい。</p>	
		施策傘下事務事業に係る個別指摘事項
		<ul style="list-style-type: none"> ・全て「継続事業」とする。 ・団体運営費補助にあっては、引き続き団体との協議を密にし、適切な役割分担、良好な協力関係を構築されたい。